

旬刊

# 東北のあつた

行發日廿日一十月一三  
吉梅越堀 行發集印  
四路小越堀町平縣島福  
社報時工商北東 所行發  
圓一 金行一 料告廣  
錢月ヶ一 錢十金 部一  
圓三共稅郵年ヶ一

TAIRA TELEPHONE

9

## 恵まれざりし我

古川浩民

### 阿部氏は『萬事如夢』

と言ふた

噫世は

夢である私は四十年間恵まれざる生活を續けて居た悲しまざるを得ない。凡そ人として生に享けると同時に生べき道を求めばならぬこれ自然なり、而して生べき道はその邊に存在するであらう。

人曰く『汝生んと欲せば須らら働けよ』と語簡なりと雖もこの言至盡なりそは自然の要諦なり、生活安定の本義なり、人として生れた意義は食ふて寝て起ると云ふ單調なる意味ではなからう。

人間としての價値はそんな單調なものではあるまい。而しその單調なる食ふて寝て起てさへも自由満足に與へられないとしたらば我は人間だと云ふ資格がどこに見え出すことが出来よう。若し物質欲に充たされず享樂三昧に耽け得るとしたならば、それで人間としての意義が満足なりと云ひ得るであらうか。

私等は人として存在する以上はそんなものではなからう。もつと有意義がなければならぬと思ふ。

只意義のない生活に生んとするが故に物質欲も煩悶も徳惱も襲來するのである之れ物質欲に生んとして精神即ち信仰に生んとするの信念とほしきに因るのである而し牢固たる信念を築き上げ信仰の光輝に浴せんと欲せば先づ物質を得て生活の安定が土臺として信仰の道に入り始めて意義ある人となりたいと思ふ。

固より生活と信仰とは別個の問題であるに相違なからう、然れ共其妙諦に觸れ絶明けまで待越すことは問題

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

らざる人にして意志の弱き人の言なりと云ふが私は左にあらすと否定したい、のであるそれは繁累の無き人に於てのみ云ふべきの言にして一般には融通せざる言葉なりと思ふ昔より衣食足りて禮節を知るこの言葉は現在にも當儀つた言葉ではなにか物質にも信仰にも恵まれざる私は夢の如くに過ぎ來たつたことは忸怩の感なきを得ない。

## 本縣通常縣會

### 二十日開會

#### 正副議長の交替

##### 參事會員の

本縣通常縣會は二十日抽籤車が押し紛糾なしとは斷じ午前十時開會式を舉げ畑山得中中には立混乱に乗じて知事の挨拶釘本議長の答辭漁夫の利を占めんとするもあり引續き本會議を開き畑のあるべく其の成行きを注目されてゐると。

山知事の豫算説明があり議案調査の爲め七日間位休會す例の參事會交替の外正副議長の交替問題があるの

で民政派では役員選舉を休會し然れ共其妙諦に觸れ絶明けまで待越すことは問題

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

の道に入る能はずとなす人落ちつくこと確實と信せらるるも野心家や不満家が横多敷出席盛會であつたと。

## 小田秀子氏

愛婦支部へ 千圓を寄附

石城郡好間村小田吉太郎氏夫人秀子氏は去る十日愛婦支部事業費へ一千圓を寄附したが明春の支部總會には總裁宮殿下より特別有功章を御親授あらせられ尙ほ賜餐に召さる筈である。

## 肥料商の對策

産業組合の異なる進出振りに痛棒を受けてゐる郡山安究田村岩瀬の一市三郡に於ける肥料商はこゝに打つて一丸となり近く會同の上その對策を講究する事になつた。

## 中村事務長榮轉

片倉製絲工場事務長中村吉郎氏は今回岩手縣是盛岡製絲事務長として榮轉後任として岩手縣是の今井岩就任せり。

## 金魚

コウミン

母アさん 可愛金魚が死にました それとも 眠つてゐるのかよいえ 死んだに違ひない いつまでたつても 目がさめぬ ア、金魚が死んだ いじらしい。

去る九月二十八日未明

## 長木材置場の火災に對し

町内の某はたき火の

## 不始末からと稱し

長氏の信用を傷つけん

## とする奇怪な惡宣傳

石城郡平町新川町六 木林商 長小次郎方木材置場から去る九月廿八日午前三時五十分頃發火し西風に煽られ火は見る／＼中に工場を一砥めとし更に隣接せる六戸を焼失し五時鎮火したが原因は放火の疑ひありとして當時平署で取調中であつた。最近町内の某は 長木材置場の火災は放火でなく たき火の不始末であると盛んに各町内を腰辨で宣傳して歩くが過般の選舉問題から長氏に對しての反感から來た 惡宣傳で長氏に對して何等か爲めにせんとする、狂犬的の叫びである。當時發火した場所は木材置場から火のけの無いところから發火したのであるから 實に不思議千萬であるにも拘らずたき火の不始末と宣傳して居るがこの點が實に奇怪至極である東にある製材置場から發火してあると云が火の發見した時は西風に煽られて西の方だけ六戸を焼失しあはるはこれまた疑問ではないか。(つゝ)



# 工業界の傑物

## 鐵興社は全國第一

### 同社の發展するは氏の力

社長 佐野隆一氏

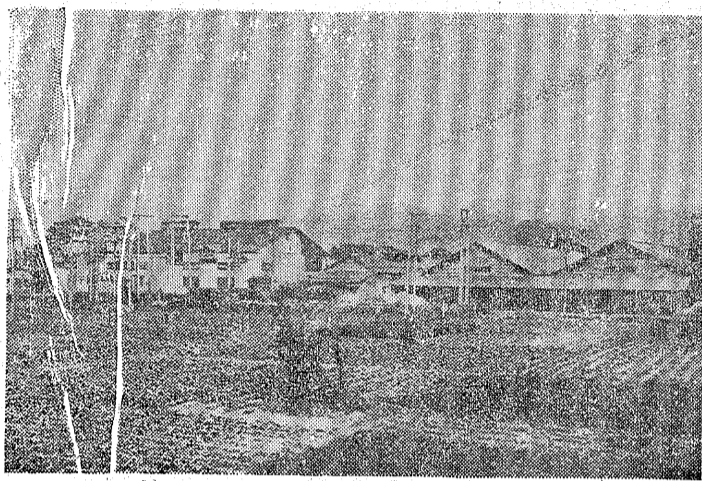
工場長 前島憲平氏

## 明春から新工場開始

### 藤島町・酒田市二工場

資本金五拾萬圓の株式會一大飛躍を試むるに至り隆株式會社鐵興社の社長として、鐵興社は本社を東京市々たる其の發展振興製品にて從横にその手腕を延ぶる京橋區三丁目四ノ八に置き堅實を加へ工業界は重視

(一ノ其) 景全場工形山社興鐵



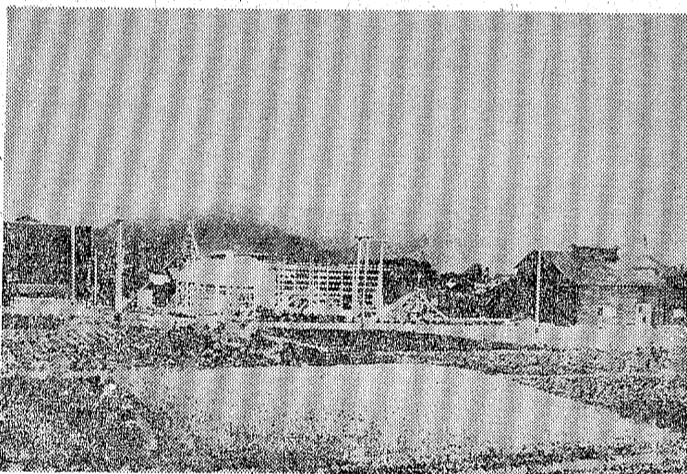
而して工場の策源地は山形せらるゝ處である社長佐野隆一氏は實に工業界の傑物北に亘り工業界の大舞臺にあり。怪物である。氏は

造詣深く經驗其技術と研究に俟つて自己の修むる學術を應用して其製品に異彩を放ち製鐵に功妙を現はし故に諸種の注文陸續として從つて同社の前途は洋々として春の海の觀を呈しつ

は頗る成績良く市場から非田吉次氏と提携して小田炭見なく鑛手を督勵し内外礦株式會社を創立し專務取をして信望尤も厚からしむ締役となり銳意之が經營を氏は春秋に富む今後の活躍主宰するに至つた氏の實手鑛城炭鑛界の重要な椅子を腕を認められ社長の重任を占むる難きにあらざるを信負ひ其敏腕を遺憾なく發揮す、

するや經濟界は混沌として氏亦交際家として克く談し收拾すべからざるものあり能く論じ對者を飽かしむる此時に際し氏は緻密なる頭なきは氏の尤も得意なりと腦と獨特の手腕と克く之等

(二ノ其) 景全場工形山社興鐵



あり氏は稜々たる氣骨を有産百四十餘の砒素鐵増産を免も角難關を切り抜けける人々を以て常盤經濟界に講成曲がつたことは嫌ひの正義發行すべく目下其の準備中つた

あり氏は稜々たる氣骨を有産百四十餘の砒素鐵増産を免も角難關を切り抜けける人々を以て常盤經濟界に講成曲がつたことは嫌ひの正義發行すべく目下其の準備中つた

あり氏は稜々たる氣骨を有産百四十餘の砒素鐵増産を免も角難關を切り抜けける人々を以て常盤經濟界に講成曲がつたことは嫌ひの正義發行すべく目下其の準備中つた

### 工場總監督なる

#### 前島憲平氏

氏は社長佐野氏を補け敏腕を振ひ同社のために多大なる努力を盡したる工場長前島氏は工業に就て極めて

## 鑛城炭鑛界の花形

### 萩原申八氏

世に幸運兒を擧ぐれば氏に入り鑛城、赤井、大倉炭も亦其の第一人者にして數鑛を經營し氏は先天的頭腦ふるを得べし、氏は新瀉縣の明快はなく此間の妙味を人にして小壯より鑛山界消化し克く散じ能く收めて

福島縣製絲の休業は僅々拾位 福島縣製絲組合では過般の東北製絲聯盟組合の決議に基いて十二月一日から任意休業を行ふ事となつてゐるが、目下の状態では縣下に於ける營業製絲工場五十二のうち休業すると見られるものは拾二工場位のもので其他としても例年二十日乃至三十日位休業程度に止まる模様である。

## 地方の開發に

### 努力せる

#### 立花雄七氏

立花雄七氏は石城郡小名附を以て常盤經濟界に講成曲がつたことは嫌ひの正義發行すべく目下其の準備中つた

### 平消防組

#### 歳末に 貧困者へ救済

平消防組では去る十八日午後六時より聚樂館に於て今日に及んで居る亦非常な歳末に際し餅の用意を調なる熱情に富み性情の進るへられぬ貧困者救済金造成處平素よく町民大衆唯一のため新田町藝妓連のオン味方として何事によらず善パレードの演藝大會を催し處し一般町民より敬仰の的盛會であつた

### 購融資

十五萬圓少ない 福島縣が勸業銀行から百萬圓を限度として融通を受

劑養榮な要必ひぜ

# 米の母

ヂンイデルビ香女仙三ノ二橋京郵業營

坂本齒科醫院 院長 坂本惣次郎

福島縣石城郡平町材木町四一

大日本モリス興業株式會社

福島縣營業所

主任 星野庸治

資本金參百萬圓

「モリス興業」早わかり

相互式新金融機關 當會社は米國のモリス式金融法に則り、我が國情に適應せしむる様改編し主として中小商工業者及俸給生活者に對し、無擔保對人信用にて「モリス興業資金」を融通する相互式組合式共同式金融機關であります。

株主本位の營業 當會社は株主相互の利益を圖り、株主共同の金融機關たることを主眼とする會社です。株主でない人には御貸出を致しません。資金融通御希望の方は、必ず先づ株主となり、其御持株金額の株金を十ヶ月々賦で完全に拂込んで戴かねばなりません。

福島市

大原病院

東山温泉

湯の花羊羹

松本家本舖

日用品明治屋

營業案内

和用紙・茶・砂糖・石鹼・化粧品・陶器・菓子・家庭金物  
罐詰食・料品・御臺所用用品・上敷ゴザ・履物・學用品・油類・乾物日用品一式

十二月十日より卸賣部を新設して  
一般卸賣に關する業務の御相談致します

小名濱町本町二一  
高木屋旅館跡

双葉郡熊町村

校長 遠藤義男

双葉郡熊町村

村長 志賀保

相馬郡眞野村

校長 太田宗成

處方調劑醫療器械

堀藥局

藥劑師

堀功

平町一丁目

大平屋藥店

電話六四二番

平町才樋小路

貴金屬時設

蓄音機

高橋時計店

請戸郵便局

濱谷信夫

長請戸菅野神社

社司鈴木重明

安心して買つる店

吳服太物類

樋口吳服店

小名濱町中島通

平町二丁目

關内正一

平町田町

江口忠一

請戸村會議員

吉崎定美

鈴木千次郎

石川任明

熊川喜助

島 馨

鈴木周藏

岡田平

佐山直身

竹村初太郎

熊川學

佐藤政義

鈴木子之助

營業(冷凍部。鑛油部。課目(魚市場。製造部。)

磐城水産工業株式會社

社長 小野晋平

支配人 福尾伊太郎

電話六六番百十番

小野新町局長

宗像清

住職 沖津堪宗

河沼郡柳津村

電話一番二番

田村郡小野新町

永山徳一

主任 鈴木靜治

小野新町軌道會社

平町五丁目

植村喜一

小野新町

裁縫女學校校長

横山己之七

相馬郡鹿島町

愛宿下

橋本屋旅館

主 佐藤みな

内科 外科

耳鼻咽喉科

宮津醫院

小名濱 電一四二番

内科 小兒科

花柳病科

佐瀬醫院

小名濱町電話一三五

内科 外科

小兒科花柳病科

中村醫院

レントゲン科

▲病室の設備あり

小名濱町電話十八番

祝創立一週年

久保田醫院

小名濱町電話二二番

内科 小兒科

花柳病科

平川醫院

江名町 電話二六

大久村

柳井義一

片濱自動車部

平町四丁目

根本園茶舖

平町白銀町

飯島助藏

双葉郡廣野村長

越智又助

平町四丁目

和泉屋

平町白銀町

藤浪工業所

電話五八一番

平土木監督所長

小林清吉

九品寺住職

遠藤心光

平町仲間町

佐藤福太郎

電話三三五番

双葉郡大久村消防組頭

木田榮治

小名濱町米野

丸八鐵工所

郡山市

郡山無盡株式會社